

# 一羊会だより

発行  
社会福祉法人一羊会

事務局  
〒663-8241  
西宮市津門大塚町1-47  
電話 (0798) 31-1760  
FAX (0798) 31-1763



一羊会ホームページ  
へはこちらから

## 特集

- 新任職員紹介【ウイダニさんとハビルさん】…………… 3
- あとりえずかけ新聞『あとりえずかけ雑貨展』報告 …… 4
- 一羊会後援会からのご報告 …… 10~11



## 部長あいさつ



理事部長  
古川 勝

一羊会は西宮市で様々な福祉の事業を展開してきました。利用者の高齢化や加齢による重度化も進んできました。今後はしょうがいの重い利用者の支援に益々力を入れていく法人になっていくでしょう。その中でも大きな課題は、地域生活の基盤の強化です。特にグループホームの事業はそれを支える貴重な生活基盤です。その重要性に反して国の制度の中でも重度障害者のグループホームの事業の運営は非常に厳しいものとなっています。一羊会としても生活基盤であるこの事業の改善は最重要課題として取り組んでいます。強い一羊会を取り戻すため以下の経営改善に取り組んでいます。

- ①事業の縮小や廃止によって財務改善を図ると共に、人材難に対応できる組織作りを進める
- ②人材確保のための採用活動の強化
- ③私たちのコアバリューである支援の質の向上
- ④ファンドレイジング、いわゆる寄付活動などによる資金の獲得

今後はグループホーム事業の改善のための準備を進めていく必要があります。目標はグループホーム事業の独立採算です。具体的には現在

のグループホームを中規模のグループホームに統合する計画ですが、それにはある程度広い土地と、建設資金が必要です。もし、独立採算が可能となれば、この手法でグループホーム事業の拡大の可能性が広がります。まさにチャレンジです。当面の一羊会としての一番大きな事業となるでしょう。経営改善の①と④はその両輪としての改善計画であり、利用者の希望、そして私たち職員のやりがいへと繋がっていくことを願っています。

今年度の一羊会後援会総会が7月1日西宮市勤労会館で開催されました。通常の事業報告、事業計画、決算、予算以外にも個人会費の改定や理事の選任の議案がありました。

数年前まではすずかけ作業所の建て替えのための資金作りを大きな目標として寄付活動を展開してきました。利用者の高齢化にも対応できる立派な建物ができました。しかしながらそれ以降はそういった目的を示さない中での寄付活動となっていました。もちろんいただいた寄付金は貴重な財源として活用させていただいております。

先にグループホームの話をしました。それ以外にも、利用者の活動やイベント、さらに設備の改善等が必要です。大きな事業も大切ですが、日々の利用者の生活の質の充実も同様に大切にしたいと考えており、そういったことにも寄付金を活用していきたいと考えています。今回の一羊会後援会の個人会費の値上げ、クレジット決済などの入金の手法の拡大がより多くの寄付へと繋がっていくことを期待しています。

HPインスタグラムなどのSNSでの報告も充実させていき、後援会からの寄付や個人からの事業所への指定寄付がどのようなことに役立っているのかを、わかりやすく報告していきたいと考えています。引き続きご協力をお願いします。

# ウィダニさんとハビルさん

広報部の神田です。今回は、4月から地域生活支援センタージョイントのホーム事業課に入職した新任職員ウィダニさん（女性）とハビルさん（男性）を紹介します。2人は共にインドネシア出身で、これまで日本での仕事の経験もあります。入職して3カ月ほど経った7月に、2人が働く「はなまるホーム」と「ホームそら」へ取材に行ってきました。

日常会話レベルでは日本語を上手に話す2人は、利用者さんとの言葉での意思疎通もスムーズ。ウィダニさんは、おふざけで自身の帽子をかぶせてきた利用者さんに対し、「尼崎（ウィダニさんの住む町）に持って帰っちゃいますよ」と軽快なジョークで返していました。一方ハビルさんは、車いすからの移乗など、手際よく利用者さんの身の回りのことを支援し、ティータイムには優しい眼差しでその日あったことを尋ねていました。明るくほがらかな人柄も相まって、2人とも利用者さんとい関係構築している様です。



合間の時間には、ハビルさんがパソコンでの記録の人力を先輩職員から教わっていました。こういった現場でのOJTにはじまり、2人が働く環境を整えるために様々な面で周りの職員や管理職の手厚いサポートがあったことも見逃せません。今回のこのような実践は、これからの組織作りに活かされていくことと思います。

日本では今後も労働人口の減少が続くことが予想され、様々な分野で外国の方の活躍が見込まれます。そんな流れの中で、7月には新たにミャンマー出身の2人が一羊園に入職しました。ひとつの大きな転換期が一羊会にも訪れていると感じます。

外国の方に限らず、一羊会では幅広い年齢層の、様々なキャリアを持った職員が働いています。利用者さんの多様性はもちろん、職員間でも互いの多様性を認め合い、それを力に変えられる社会福祉法人となれる様、広報の立場からも支えていきたいと思えます。



## インタビュー

質問内容 ①名前 ②仕事で頑張っていること ③仕事で楽しいこと ④趣味や特技

### ダニさんと呼んでください



- ①ウィダニ ラエラ  
WIDANI LAELA
- ②利用者さんのことを観察してよく知ること  
連絡帳や記録を日本語で書くこと
- ③利用者さんとお風呂で一緒に歌うこと
- ④料理、歌を歌うこと

### ハビルさんと呼んでください



- ①ハビル アクバル マウラナ  
HABIL AKBAR MAULANA
- ②利用者さんとのコミュニケーション  
日本語で書かれたマニュアルや会議の資料を読むこと
- ③利用者さんとその日のことをしゃべること
- ④ジョギング、サッカー、日本のアニメが好き

# あとリエ すずかけ 新聞

第31便 2024.9  
撮影/編集: 神田 浩平

7月5日～9日までの期間に、あとリエすずかけ雑貨展を開催しました。今年も多くの方が来場され、ギッシリと並んだ商品の数々を手にとってくれました。今回の雑貨展の目玉のひとつだったのは、舛次崇さんの絵と仁田葉月さんの文字がプリントされた『チャリT』でした。このTシャツは、売上の半分を能登半島地震の義援金として寄付するために作られたチャリティーTシャツです。ご好評頂いて、用意していた在庫もほぼ売完となりました。期間中、利用者の皆さんも遊びに来てくれて、カフェスペースでアイスコーヒーを飲んだり、クーラーが一番当たる場所で涼んだり、おしゃべりを楽しんだり、ゆったり過ごしてくれました。暑い中ご来場くださった皆さま、どうもありがとうございました。

フライヤーの絵と文字を描いてくれたのは仁田葉月さん



チャリTの横に展示された『傘』の絵の原画。舛次さんの晩年の作品です。



## 【のりえズコースター】

今回の雑貨展では、宿間谷憲江さんが作ったコースターを販売しました。フェルトや糸で色彩豊かに飾られたコースターの中央には『フレんター』、『ジャパネット』や『俺のスカート』といった宿間谷さんのお気に入りの言葉が刺繍されています。会場では宿間谷さんの創作活動の様子を記録した映像も流しました。



刺繍された「チアダン」の文字(中央)



自身の映像を眺める宿間谷さん



## 1. 組織管理

### (1) 管理者育成

OJTに加え、サービス管理責任者対象の研修を実施。主任には法人職員向けの研修や対外的な研修の講師を担ってもらうなどアウトプットの機会も増やし育成に繋がっています。また2023年度は実施できませんでした。2024年度に向け階層別の研修計画を作成。人材マネジメント能力等の事業運営力、責任感、管理意識を高め、次代の管理職としての育成に繋がるようシステム化していきます。

### (2) 組織力の強化

管理者や主任・サービス管理責任者等、業務の集中しやすい役割について、業務の整理や明確化を課題としていましたが、職員体制や利用者状態の変化などによる現場負担増もあり、支援現場に入らざるを得ず管理業務に専念できない状況は改善されていません。今後に向け、キャリアパスの見直しと、それぞれの職種の役割・権限の明確化について改めて検討を始めました。人材確保や個々の支援力向上により現場体制の安定を図ることで実現性を高め、適切な組織統制に繋がっていきたくと考えています。また管理体制については、事業安定のための効果的な部長の管理者兼務や、事業所分散及び利用者・職員数が多いため管理負担の大きいジョイントホームの管理者を2名にするなど、職員で可能な範囲で実態に即した体制としました。

## 2. 財務管理

### (1) 収支改善

空き定員の充足に向けては事業所の状況に合わせて募集を実施。成人通所事業所で法人外より6名の新規利用者を受入れましたが、一方で、状態変化等により成人通所事業所で4名、一羊園で8名の退所があり収支向上には至っていません。但し収支改善に向けては、利用者増による改善を目指すのではなく、職員が確保できない状況下、人材不足の現状も踏まえた適切な人員配置、及び事業の規模縮小や整理も含めた見直しの方向を検討し、一部事業では定員減、制度設計や体制上収支及び運営が厳しくなっている事業（カノン今津、山口町ホーム）については廃止するなど再編を進めました。2023年度は法人全体でマイナス収支ですが、2024年度まずは資金収支計算書上の単年度赤字を解消していく見込を立てています。

### (2) 財務分析

WAMNETの指標に基づく経営分析、及び公認会計士による調査を基に、客観的に法人全体の課題を確認。また事業所の経営状況把握のため、半期毎に各管理者による経営状況と年度見込についての報告会を実施。管理者の経営意識を高めるとともに、各事業の経営課題や事業の方向性、2024年度の人員配置や加算取得も検討していきました。また具体的な動きは2024年度からとなりますが、全国社会福祉法人経営者協議会の経営協ドックを受診申込。さらなる

経営分析を進め具体的な改善案や収支目標検討に繋がっていきます。

### (3) 規律強化・管理力向上

本部及び顧問会計事務所による巡回を毎月実施。管理者の会計把握や知識の向上に継続して取り組んでいます。

公認会計士による会計調査を8月～10月で全事業所実施。監事による中間監査を一部事業所において12月に実施。意見・指摘頂いた内容については、経理規程を改正するなど、改善に向け可能な部分から取り組みました。

## 3. 人材マネジメント

### (1) 人材確保

法人ホームページやSNS、人材採用サイト等の既存の採用活動に加え、インターンシップにも注力して採用活動を進めてきました。インターンシップについては、2024年4月の新卒採用での成果は出ていませんが、申込者も多く、2025年4月の採用に向けて一定の成果を確認することが出来ました。また、国内の労働人口の不足に伴い、外国人材紹介会社を通して外国人材の採用活動を行いました。一羊園とジョイントにおいて2名ずつの採用に至りました。

福祉士実習においては、各事業所にて実習生の受け入れを行っていますが、採用実績にはつながっていません。

参考：2023年度採用実績（新卒は2024年4月入職者）

新卒採用	女性1名・男性1名	計2名
中途採用	女性2名・男性5名	計7名
契約職員	女性11名・男性3名	計14名

### (2) 人材育成と定着

より質の高い利用者支援を行える人材を育成していく為に、研修システムに基づいて法人内研修を実施しました。キャリアパスの見直しについては、完成には至っていませんが、組織体制の見直しと共に検討を進めています。今後は人事考課制度の見直しも連動して進めていきます。

IT環境の導入については、事業所単位でタブレットやインカムの導入を進めました。内容によっては、業務効率化だけではなく安全性や費用対効果も含めて導入に向けて考える必要があり、導入に至らなかったものもあります。引き続き関連情報を集め導入に向けて取り組みます。

職員が長く安心して働ける職場環境作りについては、2024年度より年間公休数を105日から107日に増やしました。今後は110日に増やせるように人材の確保を進める必要があります。また、公休数を増やすことだけではなく、手当関係の見直しや奨学金返済支援制度の導入を進めました。

参考：2023年度法人内研修実績

実施日	内容
4月8日	法人全体研修
5月11日	新任職員研修『知的障害・てんかん』
5月18日	新任職員研修『ダウン症』
5月25日	新任職員研修『自閉症』
6月1日	新任職員研修『ABA（応用行動分析）』
6月8日	新任職員研修『権利擁護』
6月24日	全職員対象『「働くこと」を改めて考える』
9月30日	全職員対象『自閉スペクトラム症の人とのコミュニケーション』

2月1日 ～2日	サービス管理責任者等、相談支援専門員対象『PECSレベル1ワークショップ』
2月15日	2年目職員研修
3月2日	全職員対象『虐待防止研修』
3月15日	1年目職員研修
5月25日 7月28日 10月2日 12月20日	ASD施設コンサルテーション
5月～11月	事業部長対象『令和5年度会計実務基礎講座』主催：兵庫県社会福祉協議会福祉人材研修センター
11月～12月	事業部長対象『令和5年度社会福祉法人財務管理講座』主催：兵庫県社会福祉協議会福祉人材研修センター

(3) 専門性の向上

それぞれの事業所において、医師との契約や看護師、理学療法士、作業療法士の配置を行い、専門職の視点による利用者の状態像も踏まえて、それぞれの状態に合った支援が行えるように取り組みました。特に高齢化対応においては、状態像の変化を把握する際や医療分野との連携の際に、関係する専門職の知見も踏まえた対応を行いました。

4. 事業展開

(1) 機能の整理

成人通所事業所の機能整理を進めるために、通所事業所管理者が月1回集まり会議を行いました。多機能事業所と単独事業所のそれぞれの課題と役割の整理を行いました。

障害者支援施設においては、2名の方が医療施設へ、2名の方が高齢者施設へ移行しました。また、2名の方の移行を進めている状況です。引き続き、医療的な支援が必要になってきた利用者にはご家族、高齢者施設等と連携をとり、スムーズな移行も含めた支援を行います。

(2) 専門職の配置

多機能事業所で作業療法士の雇用、一羊園でも理学療法士の雇用をそれぞれが行え、必要なりハビリメニューの作成に繋がりました。また、ジョイントホームでも看護師の雇用ができ、利用者の健康維持につながりました。

(3) 生活施設の住環境整備

ジョイントホーム事業課においては、既存のホームでの生活が難しくなっていた2名の利用者の転居という形で6月に元浜ホームを開設しました。以降、職員体制の厳しさから利用者の転居や新規募集を2023年度中には実施出来ませんでした。利用者にとっての住環境整備と持続可能な支援体制の構築に向けた統合再編についての方向性を検討し、2024年度より実施していくことになりました。

一羊園においては、多様化する個別ニーズに対応し、利用者一人ひとりが暮らしやすい環境を整えていく為にユニット化に向けての検討を行いました。具体的な取り組みまでは至っていませんが、引き続き検討を進めていきます。

5. 利用者支援サービス

(1) 就労支援

2023年度は、近年の利用者の重度化・高齢化が急速に進んでいることによる作業ニーズの変化、また人材不足により体制が整わなかったこともあり、優先発注においては再

委託を含め、作業量の調整を行いました。そのような中でも、働くことを希望する利用者には一定以上の工賃水準を維持しました。

2024年度に向けては、機能分化についての話し合いにおいて、各事業所の利用者ニーズと請負可能量の確認を行い、法人全体での各事業所の役割や受注業務の整理を行いました。

高い工賃を目指す事業所の利用者確保については、アイビーや相談事業等の関係機関へ定期的に募集の案内をしました。すずかけ労働センターでは、利用者家族の紹介により、11月より1名の方が利用を開始されました。

行政への要望については、前述の通り、近年の利用者の重度化・高齢化が急速に進んでいることによる作業ニーズの変化に伴い、今後も見据えて「しょうがいの程度・特性に合わせた作業内容の発注・調整」を要望として提出しました。

(2) 日中活動支援

利用者個々のニーズを把握し、必要な支援を提供しました。優先発注の作業では、作業量が過多になっていたため、一部の作業工程を再委託という形をとることで利用者支援に余裕を持って行える体制を取りました。しかし、若年の働きたい利用者にとって魅力ある活動を提供するための見直しを具体的に進める事が出来ませんでしたので、引き続き検討を行います。

一羊園における日中活動の充実に関しては、山口町ホーム閉所に伴ってではありますが、1名の方が他法人のグループホームを利用しながら、法人内通所事業所を利用することとなりました。また、利用者1名がリハビリの充実を目的に、他法人の生活介護事業を週2日利用されています。

(3) 意思決定支援

法人主催で2月にPECSの研修を実施しました。法人からのサービス管理責任者を中心に20名が参加しました。次年度以降に研修で学んだ内容を実践し、利用者の意思決定支援を進める必要があります。

(4) 支援専門性の向上

支援者ひとりひとりのスキルアップを目指すために、2023年度も外部のスーパーバイザーによるコンサルテーションの機会を作りました。オンライン研修を導入するなど、事業所にあわせた研修参加を行い、支援者の学びの機会を作りました。しかし、事業所によってはOJTの導入が難しく、支援力向上に向けた課題も明確になりました。

(5) 権利擁護・虐待防止

虐待防止、身体拘束適正化に関する研修を3月に実施しました。「叱る依存」から考える虐待防止をテーマに、利用者にとって良いと考えられる支援も、その接し方によっては虐待の構図に繋がることを学びました。

行動規範評価を6月と12月に実施しました。評価結果を基に各事業所でテーマを決めて話し合いをもち、支援に対する意識の共有を図りました。

虐待防止委員会を2回実施しました。虐待事案に対する改善計画に即した取り組みの振り返りを行うとともに、身体拘束事例の実施状況の報告と適切になされているかの確認をしました。

(6) 危機管理

各事業所で起こった事故報告の再発防止について事業所単位で取り組みました。9月と3月には各事業所で起こった事故報告について半期でまとめたものを情報共有しました。

感染症並びに防災のBCPが2024年度より義務化されました。感染症BCP及び感染症対策指針についてひな型をもとに各事業所で策定しました。防災のBCPについては2016年策定の既存のものを見直す形で策定しました。アルコールチェックについては、2023年10月より検知器を導入し、本格的に実施しています。チェックの方法や記入書式などは各事業所で運用しやすい形にしています。

児童分野で義務付けられた自動車の安全装置は設置しました。自動車を運行する場合の所在確認、安全計画などは策定し、2024年度から運用します。

他に各事業所で主体的に進めていくこととなっていた車両事故減少に向けての取り組み、防災への取り組みについて、9月には掲示板上で進捗を確認し、3月にオンラインで各事業所のリスクマネジメント担当者が報告会を実施し、それぞれの事業所での工夫や情報などを共有しました。また、3月には保険会社が主催する安全運転講習へ各事業所から対象者が参加しました。

## (7) アート活動の推進

「すずかけ絵画クラブ」「あとりえすずかけ」では、毎月の制作活動を実施しました。

7月には夏の雑貨展を開催し、11月には読売テレビのイベントの一部に作品を展示する形で参加、2月にはグループ展「すずかけの間」を開催し、多くの方に作品を見てもらうこととなりました。

2023年9月より株式会社「egakumo」のwebギャラリーにて作品を紹介していただいています。また、作品の貸し出しやイベントへの参加等今後の展開についても継続して検討しています。

あとりえ収益

収 入	1,252,444円
支 出	496,089円
工賃分配金額	763,769円

## 6. 地域連携・地域貢献

### (1) 障害児等療育支援事業

全体的な実施数は前年度比で10～15%程低減しました。要因としては担当者が実質的に現場兼務1名の体制のため、担当者の業務量によって本事業の実績が影響を受けた結果と考えています。例年になかったこととして、西宮市と尼崎市からの受託分について、一羊会は課税処理をしていましたが、両市とも非課税として扱っていたことについて(県は従前より課税対象の事業として取り扱っていましたが)、過去5年分をさかのぼって消費税相当額の支払いを受けられることになりました。県の予算額は昨年度比でさらに15%減となりました。また、尼崎市は委託先がたじかの園と三田谷治療教育院のみとなり、再委託の形で当法人を含む市内3法人で合計60件の施設支援を案分される形になり、外来と訪問については廃止となりました。実施内容は、計画相談事業者から依頼を受けて重度訪問介護の利用のアクセスメント、学校・園・施設、及び保護者から依頼を受けて、当該機関へ訪問し、従業者に対するしょうがい特性の理解に関する講義、発達に特性がある児・者に対応する際の留意点の助言、具体的な支援ツールの提案、実際にご本人の様子を観察したり関わったりしたうえで具体的な支援方法の提案などを行いました。また、地域の発達に特性がある子どもを育てる保護者に呼び掛けて茶話会を開催しまし

た。相談を受ける中で把握できた地域ニーズに即した内容で講演会を企画し、講演会の企画の一部に関しては法人内で組織する研修部会で企画開催するものを一般にも公開する形で実施しました。

2023年度実績 ( )内は2022年度実績

西宮市	訪問7(28)・外来57(67)・施設支援(研修会含む)112(122)
尼崎市	訪問：廃止(2) 外来：廃止(0)・施設支援20(23)
兵庫県	訪問0(2)・施設支援15(18)

### (2) 広報活動

広報紙「一羊会だより」を3回発行しました。主に法人の事業報告を行いました。報告しきれなかった各事業所の活動を皆さんに知っていただくために、新しい自主製品の紹介や各事業所でのイベントを紹介する「ゆるませ羊新ブ」を3月に発行しました。

また、インスタグラムを中心に、普段の就労現場の活動風景や、自主製品ができるまでの工程、職員の業務紹介などの短編動画を積極的に公開し、よりたくさんの方に分かりやすく法人の活動を知ってもらえるよう努めました。

### (3) 実践発表会の開催

12月1日(金)に「意思決定支援・表出支援」をテーマにオンラインにて4事業所より発表を行いました。市政ニュース掲載や関係団体への案内、ホームページでの掲載等を行い、後日視聴含め、89名の方に参加いただきました。

アンケートでは、参加者の様々な立場から「日常より寄り添っている姿勢が感じられました」「一人ひとりに合ったツール」の評価等の回答をいただきました。また、発表者についても「聞きやすかった」等のコメントをいただき、職員にとっても自分たちの日頃の実践を伝える有意義な機会となりました。

更に良き発表会となるよう、内容、広報含め次回に向けて引き続き検討を進めていきたいと思えます。

### (4) 地域イベント

2023年度は、学園祭や販売会等のイベントに19回参加しました。新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、引き続き感染対策を講じたうえで、約半分程のイベントに利用者も参加しました。

事業所のイベントについては、7月15日に上甲子園すずかけ作業所で「すずかけイチバ上甲子園」と題して、ホームページで募集した一般の方にも出店いただいて開催し、地域の方含めたくさんの方にお越しいただきました。また、同じく上甲子園すずかけ作業所では作業で請け負っている近隣の甲子園八幡神社よりお声掛けいただき、神輿巡業に参加しました。

### (5) 地域貢献

西宮市社会福祉法人連絡会(ほっとかへんねっと西宮)や西宮市地域自立支援協議会(みやっこ会議)など、地域における課題解決やネットワークを構築していく為に必要な場に職員の派遣を行い、行政や関係機関と協働しています。具体的な成果は出ていませんが、引き続き地域貢献に努めます。

大学や専門学校からの実習生の受け入れについては、社会福祉士実習や保育士実習、看護師実習の受け入れを行いました。地域の人材育成に寄与するとともに、実習生に障害福祉分野の現場や魅力を知ってもらう機会となりました。

2023年度 法人単位資金収支計算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(単位：円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 予算(A), 決算(B), 差異(A)-(B), 備考. Rows include 事業活動による収支, 施設整備等による収支, and other activities.

注) 予備費は、支払利息支出に5円を流用

2023年度 法人単位事業活動計算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(単位：円)

Table with 5 columns: 勘定科目, 当年度決算(A), 前年度決算(B), 増減(A)-(B). Rows include サービス活動増減の部, サービス活動外増減の部, 特別増減の部, and 繰越活動増減差額の部.



2023年度 法人単位貸借対照表

第三号第一様式

2024年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	386,406,933	362,538,800	23,868,133	流動負債	131,852,862	96,454,086	35,398,776
現金預金	151,423,454	113,548,130	37,875,324	事業未払金	82,121,007	46,939,015	35,181,992
事業未収金	209,224,567	217,327,589	-8,103,022	1年以内返済予定設備資金借入金	6,072,000	6,072,000	0
未収補助金	6,682,446	9,002,456	-2,320,010	1年以内返済予定リース債務	3,545,832	0	3,545,832
貯蔵品	6,258	7,258	-1,000	未払費用	289,862	497,963	-208,101
商品・製品	774,835	744,201	30,634	預り金	2,855,361	3,113,208	-257,847
仕掛品	133,856	173,068	-39,212	職員預り金	16,800	1,731,900	-1,715,100
原材料	2,274,549	2,710,021	-435,472	仮受金	100,000	0	100,000
立替金	1,126,448	1,060,363	66,085	賞与引当金	36,852,000	38,100,000	-1,248,000
前払金	7,080,051	10,265,197	-3,185,146	固定負債	265,615,983	265,200,761	415,222
1年内長期前払費用	168,480	336,960	-168,480	設備資金借入金	109,165,000	115,237,000	-6,072,000
仮払金	143,389	213,957	-70,568	リース債務	8,782,220	7,855,604	926,616
仮払消費税等	7,368,600	7,149,600	219,000	退職給付引当金	147,668,763	142,108,157	5,560,606
固定資産	2,061,990,613	2,160,342,762	-98,352,149	負債の部合計	397,468,845	361,654,847	35,813,998
基本財産	1,422,539,063	1,495,845,078	-73,306,015	純資産の部			
土地	307,703,100	307,703,100	0	基本金	267,316,507	267,316,507	0
建物	1,114,835,963	1,188,141,978	-73,306,015	国庫補助金等特別積立金	512,299,542	558,670,008	-46,370,466
その他の固定資産	639,451,550	664,497,684	-25,046,134	その他の積立金	344,790,000	357,304,000	-12,514,000
土地	31,725	31,725	0	施設整備等積立金	202,580,000	202,580,000	0
建物	54,608,548	59,273,186	-4,664,638	修繕積立金	56,940,000	59,600,000	-2,660,000
構築物	54,910,662	61,786,351	-6,875,689	備品等購入積立金	28,970,000	31,500,000	-2,530,000
機械及び装置	51,358	190,613	-139,255	工賃変動積立金	25,485,000	27,485,000	-2,000,000
車輜運搬具	7,672,537	3,042,255	4,630,282	設備等整備積立金	30,815,000	36,139,000	-5,324,000
器具及び備品	35,974,271	42,611,946	-6,637,675	次期繰越活動増減差額	926,522,652	977,936,200	-51,413,548
有形リース資産	8,294,880	2,816,880	5,478,000	(うち当期活動増減差額)	-63,927,548	31,997,362	-95,924,910
権利	3,930,990	4,626,493	-695,503	純資産の部合計	2,050,928,701	2,161,226,715	-110,298,014
ソフトウェア	4,271,202	5,778,685	-1,507,483	負債及び純資産の部合計	2,448,397,546	2,522,881,562	-74,484,016
退職給付引当資産	103,847,377	105,637,070	-1,789,693				
差入保証金	21,068,000	21,230,000	-162,000				
長期前払費用	0	168,480	-168,480				
施設整備等積立資産	202,580,000	202,580,000	0				
工賃変動積立資産	25,485,000	27,485,000	-2,000,000				
設備等整備積立資産	30,815,000	36,139,000	-5,324,000				
修繕積立資産	56,940,000	59,600,000	-2,660,000				
備品積立資産	28,970,000	31,500,000	-2,530,000				
資産の部合計	2,448,397,546	2,522,881,562	-74,484,016				

法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同) (2024年4月1日~2024年6月30日)

- \*法人 故今西永兒 松枝千尋(4件) 5件 \*武庫川すずかけ作業所 平野弘子(3件) 3件
- \*すずかけ労働センター 西宮グリーン(株) 1件 \*児童通所支援 古川勝 1件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2024年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)  
(2024年4月1日~2024年7月31日までのご入金分を掲載)

2024年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)  
(2024年4月1日~2024年7月31日までのご入金分を掲載)

- \*法人・団体の部
  - 大関エステート(株) (株)岡崎石材店
  - (株)ケーゾークレセント(2口) (株)巨勢工務店
  - 西宮市民踊協会 (一社)西宮市薬剤師会
  - 阪神園芸(株) 平田建築設計(株) (株)前中地所
  - 三日月建設(株) (株)メックテクニカ
  - (株)ヤマサ環境エンジニアリング
  - すずかけ作業所保護者会(5口)
  - すずかけ第2作業所保護者会(5口) 14件
- \*個人の部
  - 伊藤節子 井上尚子 岩井久美子 岩本健熙
  - (宗)圓滿寺(5口) 大西勝代 大前繁雄(2口)
  - 大目修平 岡村英幸 岡村真理 小川加代子
  - 河合万貴子 川上隆弘 北川泰寿 熊谷悟 小林義典
  - 清水栄子 下浦洋子 千翔有峰 瀧川秀樹(2口)
  - 田中京子 田中美英子 中川寛子 中島忠男(2口)
  - 橋本真理 長谷川幸 日高昭夫 古川勝
  - 前川拓郎(5口) 三上展 光武真里 森野和雄
  - 八木名見子 八木米太郎 山本加津美 横山潤・正代
  - 吉田幾久世 吉野千栄子
  - 武庫川すずかけ作業所保護者会(53口) 39件

- \*法人・団体の部
  - (宗)圓滿寺 1件
- \*個人の部
  - 岩井久美子 大目修平 小川加代子 川上隆弘 熊谷悟 清水栄子
  - 下浦洋子 副島宏克 竹前篤 中川寛子 橋本真理 福田百合子
  - 古川勝 前川拓郎 森野和雄 山本加津美 吉田幾久世 17件

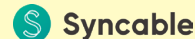
■口座名義 一羊会後援会

■銀行 三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

■郵便振替口座 01190-8-66322

■シンカブル

(クレジットカード・銀行振込決済サイト)



※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。別途受領証が必要な場合はお知らせください。  
※現金振込時の手数料について、振込手数料は後援会負担としておりますが、現金でお支払いの場合は別途110円の手数料がかかります。誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願いたします。(ゆうちょ銀行の通帳やカードでのお支払い時には手数料はかかりません)

# 一羊会後援会からご報告

## 2024年度総会を開催しました

会長 太田 博

いつも後援会活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。まだ梅雨明けきらぬ7月1日、一羊会後援会総会を開催いたしました。当日は足元の悪いなか、44名の会員の方にご出席いただき、議案についてすべて承認されました。ご出席いただいたみなさま、ありがとうございました。

議案終了後、一羊会の職員から事業展開について報告がありました。以下、総会の概要報告をいたします。



### 2023年度事業報告概要

- ①会費・寄付は個人・団体を合わせて6件の新規入会があり、総額は1,423,100円となりました。
- ②事業活動はカレンダー販売と募金箱の設置において、昨年同様の収益となりました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。
- ③事務局の体制は変わっていませんが、内容に応じて一羊会の職員に協力を得ながら活動しています。

### 2024年度事業計画概要

#### ①会員拡大への取り組み

一羊会ホームページ内の後援会ページの仕様を見直すとともに、一羊会Instagramでも活動のPRや寄付の呼びかけを行います。また、より多くの方に支援いただけるよう、クレジット決済を導入します。

決済サイト「シンカブル」  
クレジット決済と銀行振込が可能です



#### ②事業活動への取り組み

引き続きカレンダー販売と募金箱設置に取り組んでまいります。

#### ③会費の増額について

年数の経過とともに会費収入が減少し、現在は寄付金やカレンダーの収益を加えても200万円に届きません。現行の会費を以下のとおり増額いたします。

**個人会費1口 2,000円 → 3,000円**

※団体会費は変更ありません

#### ④2024年度役員体制について

役員の任期途中ではありますが、(一社)西宮青年会議所の理事長変更と(一社)西宮市手をつなぐ育成会の役員変更に伴い、改選を行いました。また体制強化に向けて新たに理事を1名増員いたしました。

### 2024年度 一羊会後援会役員名簿 (任期：2024年7月1日～2025年 総会開催時迄) (敬称略)

役職名	氏名	現在の役職等
会長	太田 博	株式会社GEOソリューションズ 会長
副会長	三浦 昇	社会福祉法人一羊会 理事長
(新)副会長	梅谷 正子	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 会長
理事	北本 宝	中澤総業株式会社 会長
(新)理事	熊谷 悟	一般社団法人西宮青年会議所 第74代理事長
(新)理事	宮脇 葉子	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 副会長
(新)理事	古川 勝	社会福祉法人一羊会 理事部長
監事	長谷 隆行	長谷隆行公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士
(新)監事	山口 朱美	一般社団法人西宮市手をつなぐ育成会 副会長

## 2023年度収支決算

## 貸借対照表

2024年3月31日現在

単位：円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
普通預金 三井住友銀行	726,554	未払金 一羊会へ寄付	1,500,000
ゆうちょ銀行	442,929		
ゆうちょ銀行 振替口座	848,150		
現金	61,609	当期繰越金	579,242
資産合計	2,079,242	負債・純財産合計	2,079,242

## 収支計算書

自2023年4月1日 至2024年3月31日

収入の部

単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
会費寄付金収入	1,300,000	1,423,100	123,100	
会費	700,000	708,000	8,000	
寄付金	600,000	715,100	115,100	
事業収入	500,000	496,168	△3,832	
募金事業	100,000	85,443	△14,557	募金箱
販売事業	400,000	410,725	10,725	カレンダー販売
雑収入	10	10	0	受取利息他
前年度繰越金	531,228	531,228	0	
収入合計	2,331,238	2,450,506	119,268	

支出の部

単位：円

科目	予算	決算	増減	内訳
事務費	128,000	83,096	△44,904	
通信費	80,000	42,831	△37,169	郵送料、 切手代、 年賀状代
振替手数料	30,000	22,306	△7,694	会費等振替手数料
印刷費	10,000	7,150	△2,850	振替用紙・ 受領証印刷費
会議費	2,000	5,300	3,300	会議室使用料
消耗品費	1,000	306	△694	布テープ代
雑費	5,000	5,203	203	振込手数料、 残高証明、 トークン他
事業活動経費	300,000	288,168	△11,832	カレンダー仕入代金 等
寄付金支出	1,500,000	1,500,000	0	一羊会へ寄付
委託料	0	0	0	
小計	1,928,000	1,871,264	△56,736	
当期収支差額	403,238	579,242	176,004	
支出合計	2,331,238	2,450,506	119,268	

## 2024年度 予算

自2024年4月1日 至2025年3月31日

収入の部

単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
会費・寄付金収入	1,423,100	1,700,000	276,900	
会費	708,000	900,000	192,000	
寄付金	715,100	800,000	84,900	
事業収入	496,168	550,000	53,832	
募金事業	85,443	100,000	14,557	募金箱収入
販売事業	410,725	450,000	39,275	カレンダー販売収入
雑収入	10	10	0	預金利息等
前年度繰越金	531,228	531,228	0	
収入合計	2,450,506	2,781,238	330,732	

支出の部

単位：円

科目	前年度決算額	本年度予算額	増減	内訳
事務費支出	83,096	143,000	59,904	
通信費	42,831	50,000	7,169	郵送料、切手代、 年賀状代
振替手数料	22,306	30,000	7,694	会費等振替手数料
印刷費	7,150	50,000	42,850	振替用紙、受領証印 刷費、リーフレット 用シール代
会議費	5,300	5,000	△300	会議室使用料
消耗品費	306	2,000	1,694	お茶等
雑費	5,203	6,000	797	振込手数料、 残高証明等
事業活動経費	288,168	300,000	11,832	カレンダー仕入代金、 募金活動諸経費等
寄付金支出	1,500,000	1,700,000	200,000	一羊会へ寄付
小計	1,871,264	2,143,000	271,736	
当期収支差額	579,242	638,238	58,996	
支出合計	2,450,506	2,781,238	330,732	

## 一羊会から事業展開の報告

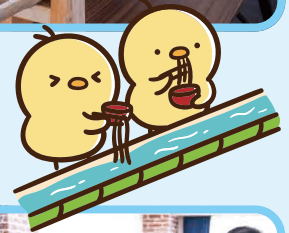
一羊会の中村部長より、組織体制や財政基盤の強化、人材確保・育成について報告がありました。

制度の変更や労働人口の減少など、変化する情勢に対応しながらどう取り組んでいくのか説明されました。



## すずかけ作業所の流しそうめん

7月18日、今年もすずかけ作業所で流しそうめんが行われました。4階テラス、1階サニカム班、駐車場の3か所に竹のレーンが設置され、皆さんそれぞれの場所で流れてくるそうめんやソバをすくって食べました。時折、レーンにはプチトマトやお菓子が入ったカプセルも流れてきます。麺よりも早いスピードに皆さん苦戦しながらも笑顔でキャッチ。プチトマトはミシン班の皆さんがベランダ菜園で育てました。



## すずかけ労働センターのレクリエーション

6月28日はすずかけ労働センターのレクリエーションの日でした。『ボーリング』、『カラオケ』、『電車クラブ』の選択肢から、『電車クラブ』を選んだ皆さんの様子を紹介します。事業所から阪神電車に乗って神戸へ向かった乗り物好きの一行は、午前中にポートタワーを観光し、南京街で中華料理を食べました。中華街をぶらぶらと散策しながら、思い思いの時間を過ごした後、再び阪神電車で帰路へ。普段、働いている時の顔とは少し違った皆さんのリラックスした表情が見られました。



駅に到着する電車を嬉しそうに待ち構える皆さん



佐竹さんに木刀を勧められ、「いらんて」とツッコむ北原さん



観光客でごった返す中華街を抜けてホットした様子の皆さん